

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)芦屋翠ヶ丘計画新築工事	階数	地上4F
建設地	芦屋市翠ヶ丘町195番の一部	構造	S造
用途地域	法第22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年7月1日
敷地面積	3,060 m ²	作成者	廣田浩二郎
建築面積	1,307 m ²	確認日	2022年7月7日
延床面積	4,252 m ²	確認者	廣田浩二郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	計画地周辺は、戸建て住宅と中低層の共同住宅が混在して建ち並んでいる場所である為、周辺の景観と調和した建築とし、道路や周辺環境との連続性を保ちつつ圧迫感を与えないように、配置や形状に配慮しました。ファミリー世帯が利便性と居心地の良い住環境の元、子育てや家族団らんにより快適に過ごせる設計としました。	
その他	敷地内駐車場に電気自動車に対応できるEVコンセントを設けています。	
Q1 室内環境	全窓を断熱性能の高いアルミ樹脂サッシ、LOW-Eガラスを採用し、各戸エアコン1台を標準装備としています。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	特に無し。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	照明は出来利限りLED照明を採用。点灯時間も配慮した人感センサー等の採用によりエネルギー削減を目指す。	
LR1 エネルギー	共用部の照明は出来利限りLEDを採用。時間により点灯率減設定を実施します。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	施工現場においては分別回収等を徹底します。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	特に無し。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される